



発行日 平成25年12月2日



No.8

「主語は誰？」

校長 溝江 透

滋賀教育という滋賀県教育会が発行している機関紙があります。その中の「湖風」というコラム欄に次のことが書かれていました。

『名札の忘れ物』

2年生の子が、「名札を忘れました。」と届けにきた。言い方はしっかりしていたので、少し話がしてみたくなった。「忘れたのは、今日が初めてですか。」「はい。」はっきりした返事である。しかし、「今日はどうして忘れたの。」と聞くと、返事に困っているように見えた。話を進めるにしたがって、名札は、いつもお母さんが付けていることが分かってきた。「名札を忘れました」の主語がお母さんであった。

この日を契機に、自分で名札を付けることにしてやりたいと思った。…（以下略）

前任の学校で、3年生の子どもたちと、七輪で炭をおこし餅を焼いて食べる活動をしました。社会科の学習の一環ですが、マッチをすったことがない子どもや、初めて火をおこした子どもたちがたくさんいて、あちこちで歓声が上がる楽しい活動となりました。

その後、七輪の炭に火がついたら、その火で餅を焼きます。少々焦げても、そのお餅がとってもおいしく感じたようで、それはそれは大事にかみしめるように、それぞれ一つだけのお餅を味わいました。

ところで、この焦げたお餅が、人に焼いてもらったものならどうでしょう。「こんな焦げたお餅いやや」ということにならないでしょうか？自分の手で心を込めて焼いたので、少々焦げていてもおいしいのです。

高校の合格発表の場で、不合格になった子に、母親が「ごめんなさいね〇〇ちゃん」と謝っている場面が見られると聞いたことがあります。このことは、先の「名札を忘れました」の延長線上にあるのでしょうか？

自分の考えを持ち、たくましい子どもに育てるには、日常の生活の中でも、主語が子ども自身となる取り組みが大切です。年末年始、そんなことを少し考えて子どもに仕事をさせてみませんか？

早いもので今年も残りわずかとなりました。この1年、いろいろご協力をいただきありがとうございました。来る年も良き年となりますように。



「創立100周年」記念事業
無事終わりました



11月22日の記念式典、23日のキャンドルナイト、そして22日～24日のパネル展、皆様のご協力をいただき無事これらの記念事業を終えることができました。ありがとうございました。

記念式典で、子ども達に話したことです。

『能登川南小学校創立百周年という記念すべき年に、この学校で学べることは、すばらしい時の巡り合わせで、いつまでも忘れることがないうれしいことです。百年の間、たくさんの先輩達が、この学校で学び、良き伝統を築いていただきました。ここにいる皆さんは、今、次の百年にバトンをつなぐスタートラインに立っています。みんなで、能登川南小学校の良さを受け継ぎ、さらにすばらしい学校となるよう力を合わせていきましょう。』

12月 今月の予定

日 曜	行 事 等	日 曜	行 事 等
1 日	能登川系びす講作品展示	17 火	期末懇談会 14:00下校
2 月	委員会活動	18 水	期末懇談会 14:00下校 給食終了日
3 火		19 木	期末懇談会 11:45下校
4 水	地区別児童会 県下一斉清掃	20 金	終業式 大掃除
5 木	6年校外学習(平和祈念館)	21 土	
6 金		22 日	
7 土	県PTA大会(あいこうか市民ホール)	23 月	天皇誕生日
8 日		24 火	冬期休業(～1/6)
9 月	クラブ活動	25 水	
10 火		26 木	給食費口座振替日
11 水		27 金	
12 木		28 土	
13 金		29 日	
14 土		30 月	
15 日		31 火	大晦日
16 月	期末懇談会 14:00下校	＝ 良いお年を…来年は午年です ＝	

Photo News フォトニュース

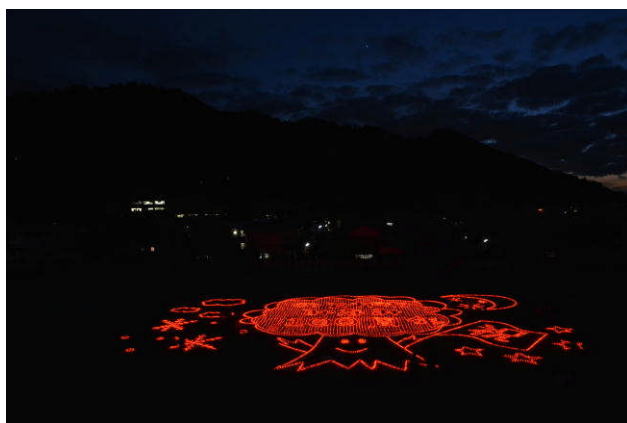
「創立100周年」 11月22日～24日



記念式典 11月22日



マリンバ・カンパニーの皆さんと 11月22日



キャンドルナイト 11月23日



パネル展 11月22日～23日

能登川南小学校ホームページにも、子どもたちの活動の様子を掲載しています。是非ご覧ください。
ホームページアドレス: <http://www2.higashiomi.ed.jp/notminamisho/>